

船舶事故等調査報告書

平成22年6月24日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

| | | |
|----------|--|---|
| 事故等番号 | 2010神第16号 | |
| 事故等種類 | 衝突（棧橋） | |
| 発生日時 | 平成22年1月12日 06時16分ごろ | |
| 発生場所 | 阪神港大阪第2区 大阪市此花区梅町2丁目6番所在の梅町西岸壁の棧橋 （概位 北緯34°39.2′ 東経135°25.0′） | |
| 事故等調査の経過 | 平成22年1月26日、本事故の調査を担当する主管調査官（神戸事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。 | |
| 事実情報 | 船種船名、総トン数 貨物船 第一いく丸、360トン 船舶番号、船舶所有者等 130972、藤本海運有限会社 乗組員等に関する情報 船長、五級海技士（航海） 一等航海士、五級海技士（航海） | |
| 死傷者等 | なし | |
| 損傷 | 船首中央に縦190cm、幅100cmの破口 | |
| 事故等の経過 | <p>本船は、日の出前の薄明時、船長ほか2人が乗り組み、阪神港大阪区を西進中、船長が、港大橋を通過後、引き続き在橋して自ら操船指揮を執らず、一等航海士と当直を交代した。</p> <p>一等航海士は、前方に2隻の小型船の船尾灯を認め、避航のため針路を右に転じたのち、レーダーを起動し、その調整に気をとられた状態で航行した。</p> <p>一等航海士は、岸壁に接近していることに気が付き、機関を全速後進としたが間に合わず、平成22年1月12日06時16分ごろ、梅町西岸壁の棧橋に船首部が衝突した。</p> | |
| 気象・海象 | <p>気象：天気 曇り、風向 東南東、風力 1</p> <p>海象：潮汐 上げ潮の末期</p> | |
| 分析 | 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析 | <p>あり</p> <p>なし</p> <p>なし</p> <p>本船は、阪神港大阪区を西進中、船長が、港大橋を通過後、引き続き在橋して自ら操船指揮を執らず、一等航海士と当直を交代したものと考えられる。</p> <p>本船は、一等航海士が、小型船の避航のため右転じたのち、船位の確認を行っていなかったため、梅町西岸壁の棧橋に向かって航行していることに気付かなかったものと考えられる。</p> |
| 原因 | 本事故は、日の出前の薄明時、本船が阪神港大阪区において西進中、小型船を避けて右転じたのち、船位の確認を行っていなかったため、梅町西岸壁の棧橋に向首して航行し、同棧橋に衝突したことにより発生したものと考えられる。 | |

